



令和4年12月19日

年末の大掃除、不用品処分時の火災に注意！

～誤ったごみの分別により火災が発生します～

不用品を処分する際に出火する火災が毎年多く発生しています。今年は12月5日現在で、リチウムイオン電池を含む製品を処分する際に発生した火災が21件、スプレー缶等の穴開け・ガス抜きにより発生した火災が24件発生しました。また、誤ったごみの分別により、ごみ収集車やごみ処理関連施設から出火する火災も発生しています。

大掃除で不用品を処分する際は、適切に処理するとともに、各区市町村が指定するごみの分別ルールを確認しましょう。

【主な火災の発生状況】

- 1 スマートフォンのリチウムイオン電池を交換する際、電池を損傷させたため電池内部で短絡して出火した。
- 2 ごみ収集車で可燃ごみを収集中、ごみと一緒に捨てられたポータブル電源のリチウムイオン電池が、衝撃により電池内部で短絡して出火した。
- 3 スプレー缶のガスを抜くために缶に穴を開けた際、スプレー缶から可燃性ガスが噴出し、近くで使用していたガスこんろの炎に可燃性ガスが引火して出火した。



可燃ごみ回収中の状況



ごみ袋の焼損状況



ごみ袋内のポータブル電源の焼損状況

【火災を防ぐために】

- 1 リチウムイオン電池を含む製品を処分する際は、製品の取扱説明書をよく確認しましょう。
- 2 スプレー缶をやむを得ず使い切らずに捨てる時には、火気のない通気性の良い屋外で残存ガスがなくなるまで噴射してから廃棄しましょう。
- 3 不用品を処分する際は、各区市町村が指定するごみの分別方法を確認しましょう。

※ 事例等の写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁 代） 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5065 5066
広報課報道係 内線 2345～2350

【別紙】

1 リチウムイオン電池の火災

リチウムイオン電池は、繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、コードレス掃除機、ノートパソコンなど）に使用され、他の二次電池と比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。

リチウムイオン電池は、電解液として可燃性の有機溶剤を使用しているため、衝撃により内部の正極板と負極板が短絡し、急激に加熱後、揮発した有機溶剤に着火して出火することがあります。

表1 リチウムイオン電池関連火災状況（最近5年間）

年別	火災の件数							損害状況				
	合計	建物	小計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	車両	その他	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	死者
29年	56	47	-	-	5	42	7	2	32	41	-	4
30年	82	69	-	1	4	64	6	7	74	40	-	10
元年	102	95	1	1	11	82	2	5	400	257	-	12
2年	104	93	-	2	11	80	5	6	200	195	-	22
3年	141	124	5	5	16	98	6	11	860	289	-	30
対前年比	37	31	5	3	5	18	1	5	660	94	-	8
5年平均	97	86	1	2	9	73	5	6	313	164	-	16

4年 12/5日現在	116	98	4	-	14	80	4	14	492	80	1	32
---------------	-----	----	---	---	----	----	---	----	-----	----	---	----

注1 リチウムイオン電池関連火災とは、ごみ回収中のごみ収集車から出火した火災、ごみ処理関連施設（業態が一般廃棄物処理業及び産業廃棄物処理業）から出火した火災を除いています。

2 令和4年の数値は1月から12月5日までの速報値のため、後日変更になる可能性があります。（以下同じ）。

表2 リチウムイオン電池関連火災の発生要因（令和4年中）

火災発生要因	合計	死者	負傷者
合計	116	1	32
製品の処分時	21	-	2
その他	95	1	30

製品の処分時の例

- ・ノートパソコンを工具で物理的に破壊した。
- ・膨らんでいるモバイルバッテリーを分解した。
- ・電池を取り外し忘れたままスマートフォンに穴を開けた。
- ・モバイルバッテリーをOA用シュレッダーで破砕した。
- ・スマートフォンを分解して電池を交換した。

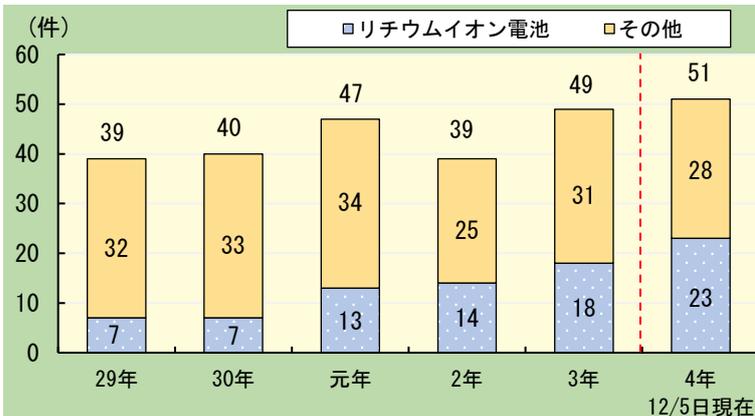


図1 ごみ収集車の火災状況（最近5年間）

注 ごみ収集車から出火した火災（建物屋内含む）。

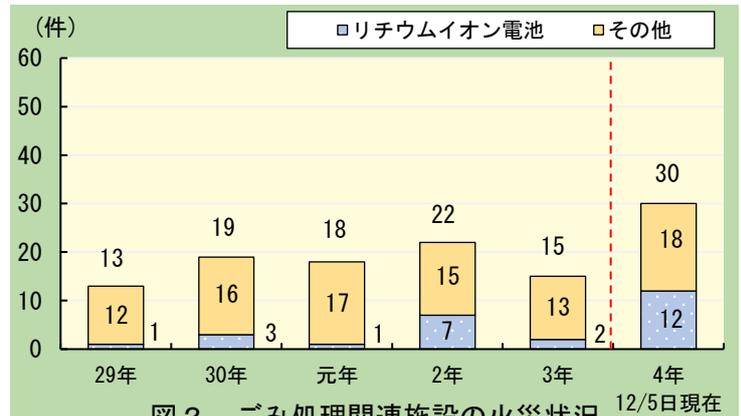


図2 ごみ処理関連施設の火災状況（最近5年間）

注 一般廃棄物処理業及び産業廃棄物処理業から出火した火災。

2 エアゾール缶等の火災

殺虫剤、消臭スプレー及びヘアスプレー等のエアゾール缶には、噴射剤としてLPG（液化石油ガス）及びDME（ジメチルエーテル）等の可燃性ガスが使用されているものがあります。

室内でこれらのエアゾール缶の穴開けやガス抜きを行うと、可燃性ガスが噴出して滞留し、近くにあるガスこんろ等の炎に引火することがあります。



表3 スプレー缶等の火災状況（令和4年中）

火災発生要因	合計	缶の種類			死者	負傷者
		エアゾール缶	用燃料ボンベ	簡易型ガスこんろ その他のボンベ		
合計	99	43	54	2	-	58
穴開け・ガス抜き	24	17	6	1	-	22
ごみ収集車	9	8	1	-	-	-
ごみ処理施設	1	1	-	-	-	-
その他	65	17	47	1	-	36

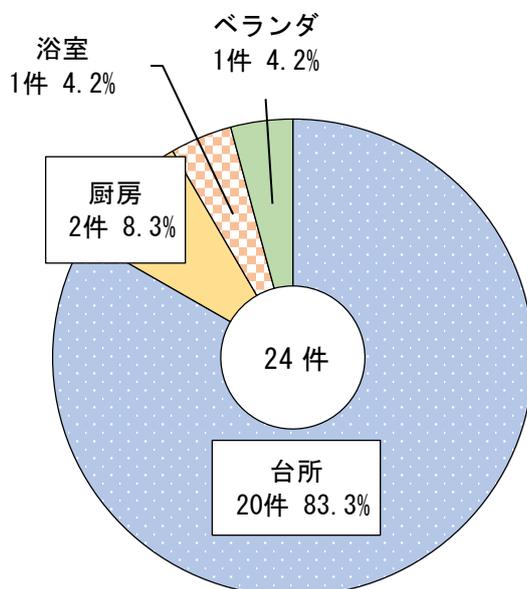


図3 穴開け・ガス抜きの出火箇所別状況 (R4)

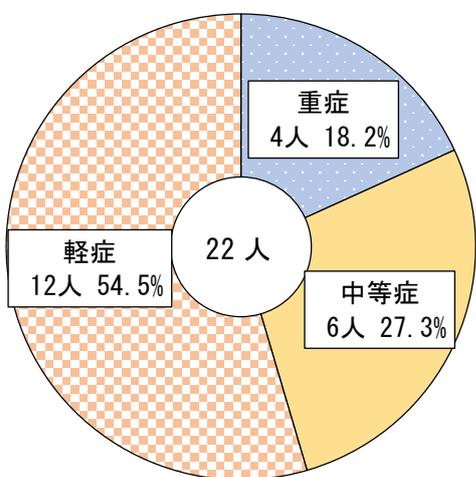


図4 穴開け・ガス抜きの負傷者程度区分 (R4)

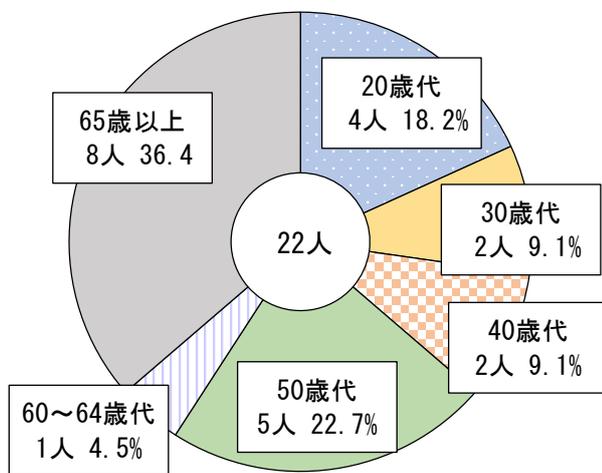


図5 穴開け・ガス抜きの負傷者年齢区分 (R4)

3 火災事例

事例1 「スマートフォンのリチウムイオン電池の交換中に出火した火災」

共同住宅の居室で、居住者（20 歳代）がスマートフォンのリチウムイオン電池を交換した際に、誤って電池を折り曲げたため電池内部で短絡し、出火したものです。

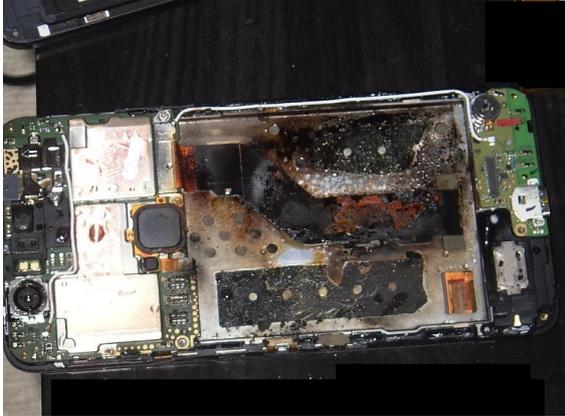


写真1 スマートフォンの状況

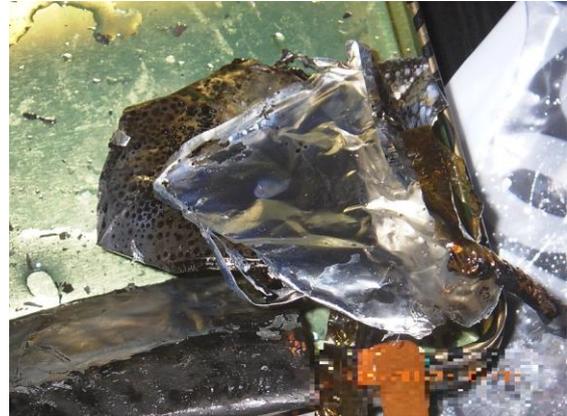


写真2 焼損したリチウムイオン電池の状況

事例2 「スプレー缶の廃棄中（穴開け）に出火した火災」

住宅の台所で、居住者（70 歳代）がスプレー缶を廃棄するために、シンクで工具を使い穴を開けてガス抜きをしていた際、ガスこんろの火が滞留していたスプレー缶のガスに引火し、出火したものです。

居住者1名が喉に火傷（重症）を負っています。



写真3 台所のシンクの焼損状況



写真4 穴開けをしたスプレー缶の状況

事例3 「可燃ごみ回収中のごみ収集車から出火した火災」

ごみ収集車が可燃ごみを回収中に、ごみに混ざって廃棄されたモバイルバッテリーがごみ収集車内で押しつぶされた際に短絡し、出火したものです。



写真5 ごみ収集車の状況



写真6 焼損したモバイルバッテリーの状況

事例4 「ごみ処理施設から出火した火災」

ごみ処理施設の作業場で、不燃ごみに混ざって廃棄されたリチウムイオン電池が何らかの要因で短絡し、出火したものです。



写真7 焼損した不燃ごみの状況



写真8 リチウムイオン電池の状況

事例5 「可燃ごみを収集中にごみ袋から出火した火災」

ごみ収集車で可燃ごみを収集していた作業員が、ごみ袋をホッパーに入れた際に、「ボンッ」という音がして煙が出てきたため、ごみ袋を取り出し、車両の後方に移動させました。その後、車載の消火器を放射しましたが、消火には至りませんでした。煙の量が多くなり、数回破裂音が鳴ったため、危険と判断して離れたところ、ごみ袋から炎が出ました。

燃えたごみ袋にはポータブル電源が入っており、内部のリチウムイオン電池が短絡して出火したものです。



写真9 ごみ袋から発煙している状況



写真10 ごみ袋から出火した状況



写真11 ごみ袋の延焼状況



写真12 ポータブル電源の焼損状況



写真13 リチウムイオン電池の焼損状況

4 小型充電式電池のリサイクルについて

【小型充電式電池とは？】

充電して繰り返し使える小型充電式電池は、小型充電式電池製造メーカーや小型充電式電池を使用する機器メーカー、それらの輸入業者などに回収、再資源化が義務付けられています。回収の対象、自治体ごとの捨て方等は、東京都環境局のホームページにリチウムイオン電池などの小型充電式電池のリサイクルについて記載されていますので、ご参照ください。



東京都環境局ホームページ：「小型充電式電池のリサイクル」

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/battery.html>

【リチウムイオン電池の排出ルール（捨て方）注意喚起ポスター】



【どこで回収しているの?】

使わなくなった小型充電式電池は、以下の場所で回収しています。

- ①モバイル・リサイクル・ネットワークに参加する携帯電話会社等のショップ
(回収対象：携帯電話本体、充電器、二次電池)
- ②家電量販店、ホームセンター等の一般社団法人JBRCリサイクル協力店
(回収対象：リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池)
※回収対象外のものもありますので、詳しくは下記のホームページをご参照ください。

①モバイル・リサイクル・ネットワーク

<http://www.mobile-recycle.net/>

(一般社団法人電気通信事業者協会・
一般社団法人情報通信ネットワーク
産業協会)



②一般社団法人JBRCホームページ

<https://www.jbrc.com/>

※回収対象リサイクルマーク



リチウムイオン電池 ニカド電池 ニッケル水素電池

